

3類型	鉋工業品	通巻番号	7 - 19 - 16
地域資源名	砥部焼	認定日	平成19年12月17日
地域	愛媛県砥部町	所管省庁	経済産業省

**事業名: 国の伝統的工芸品「砥部焼」における稀少技術「釉裏紅(紅色の発色技術)」等を活用したレトロ調電灯笠の製造と販路開拓**

会社名: 中田窯 中田正隆

所在地: 愛媛県伊予郡砥部町総津159-2

連絡先: TEL: 089-969-2077

H P: www3.ocn.ne.jp/~nakata

FAX: 089-969-2110

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・約230年前から続く砥部焼産地で、砥部町内に約100軒の窯元を有する。工業出荷額は平成7年をピークに年々減少、最近は20億円程度で推移している。
- ・大正昭和のブリキ、ガラスのレトロ調の電灯笠をヒントに、従来の分野でない砥部焼商品を市場に投入し、砥部焼普及や産地地域の活性化を念頭にして着手。
- ・これまで食器、花器、置物などを主に生産しているところ、砥部焼の皿を作る技術を活かし電灯笠の作成に初めて取り組む。
- ・砥部焼は磁器であるため、耐熱性に優れており、薄く軽く強度を保つよう作ることが可能で、電灯笠として採用できる。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

- ・手作りの電灯笠であり、形や文様がすべて異なるオンリーワンのオリジナル商品として、顧客の満足度を高められる。
- ・磁器製品での電灯笠はわずかに例がみられるが、手作り・手描き文様による商品は他にはない。

#### 市場性

- ・平成18年度白熱灯器具の出荷高は890億円。
- ・ライフスタイルが多様化する中、こだわりの空間を演出するアイテムとして飲食店経営者や個人消費者など幅広い顧客を想定する。

#### 販路

- ・展示会等に出展するなど商品知名度の向上を図り、バイヤーを通じて大手流通企業、照明器具専門店などに販路を拡大する。



### 地域資源における関係事業者との連携

- ・需要の拡大によっては、地元の窯元とも共同し、産地の活性化に繋げる。